

4月11日(日) 天国の現実を運ぶ

1 体をもって神の栄光を表す

(2コリント5:1) 私たちの住まいである地上の幕屋がこわれても、神の下さる建物があることを、私たちは知っています。それは、人の手によらない、天にある永遠の家です。

(詩篇139:13~15) あなたは私の内臓を造り、母の胎内で私を組み立てられました。私はあなたを讃美します。私は恐れ多いほどにすばらしく造られたからです。あなたの御業と作品である私は奇跡的な存在で、私の魂はそのことをよく知っています。私が秘密の工房で造られ、地の深い所でつづり合わされたとき、わたしの骨組みはあなたに隠れていませんでした。私が形成される前から、あなたは私を、私の存在を見ておられました。

(1コリント6:19~20) あなたの体は、あなたの内に住まわれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたはもはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。あなたは代価を払って買い取られたのです。ですから自分の体をもって、神の栄光を表しなさい。

(ピリピ2:13~16) 神は御心のままに、あなたの内に働いて志を立てさせ、事を行わせてくださいます。すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行いなさい。…それは命のことばをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。

2 天の現実に飢え渴く

(2コリント5:2) 私たちはこの幕屋にあってうめき、この天から与え

られる住まいを着たいと望んでいます。それを着たなら、私たちは裸の状態になることはないからです。確かにこの幕屋の中にいる間は、私たちは重荷を負って、うめいています。それは、この幕屋を脱ぎたいと思うからでなく、かえって天からの住まいを着たいからです。そのことによって、死ぬべきものが命にのまれてしまうためにです。

3 今ここで体験できる御国の力

(2コリント5:5) 私たちをこのことにかなう者としてくださった方は神です。神は、その保証として御霊を下さいました。そういうわけで、私たちはいつも心強いのです。

(1ヨハネ4:4) 子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに打ち勝ったのです。あなたの内におられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。

(黙示録21:3~7) 「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」すると、御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」また言われた。「書きしるせ。これらのことばは、信ずべきものであり、真実である。」また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。わたしは、渴く者には、いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしはその人の神となり、その人はわたしの子となる。」